

yaless-Eye単体導入ケース：

## 可視化と操作支援 で現場改善を加速

調整ミスや損紙・立ち上げロスの抑制により日々の運用を安定化。実績データを可視化することで改善判断の精度を高め、印刷現場の持続性と生産性向上に貢献します。



yaless Series Use Cases :

yaless-Eye

### 現場課題

オフセット印刷は工程が多く、調整や試し刷りのたびに紙・インキ・電力といった資源が消費されます。

そのため、わずかな損紙やロスでも利益率に影響しやすく、同時に紙資源の追加使用や電力消費の増加といった環境負荷にも直結するという構造的な課題を抱えています。

しかし現場では、生産量や損紙の実績が手作業で管理されていることが多く、改善に必要なデータが揃わないまま日々の運用が進んでしまう状況があります。

そのため、改善判断の基盤となる稼働データを日々確実に確認できる仕組みが求められます。



### 課題解決のアプローチ

yaless-Eyeを導入することで、音声対話型操作支援により、日々起こりがちな調整ミスを抑制、現場負荷を軽減。その上で、印刷終了時の生産量・損紙率などの実績を自動集計し、判断に必要なデータを可視化し、改善ポイントを明確化。

誰もが必要な情報をもとに業務を判断し改善に活かせる、現場環境が実現します。

### 提供される主な機能

- ✓ 多言語音声対話による操作支援・印刷知識アシスト
- ✓ 印刷終了時の生産量・損紙率などの実績の自動集計
- ✓ 運用結果の可視化による状況把握支援

稼働データの自動集計と必要情報の取得

改善ポイントの可視化とPDCA精度向上

音声対話による操作支援と現場負荷軽減

